

家づくりの要である住宅設計を考えてみよう（その13）

～ 主寝室 ～

1 形式

- (1) 和室 布団の上げ下ろしはあるが、他の用途にも使える利点がある。
寝具の収納スペースの確保と布団の上げ下ろしが楽にできるような押入を設ける。
- (2) 洋室 ベッドは寝起きの動作が楽である。
ベッドメイキングのため、まわりに 50 cm のスペースを確保する。
ベッドの他、衣装戸棚、化粧台、いす、ナイトテーブル等が必要。

2 寝室としての共通ポイント

- (1) 静かに就寝できるようになるべく道路から離すか、塀などで遮音する。
- (2) 夏、自然通風で寝る場合は風通しの工夫をし、重ねて防犯のことも考慮する。
- (3) 遮光カーテンや照明器具の工夫で快適に睡眠できるようにする。

3 主寝室

(1) 基本事項

位置：書斎、浴室、便所との関連を深める。

方位：南、南東、東

広さ：洋室であれば8畳以上、和室であれば6畳以上

付属家具：タンス、TV、化粧台、洋室はベッド・サイドテーブル

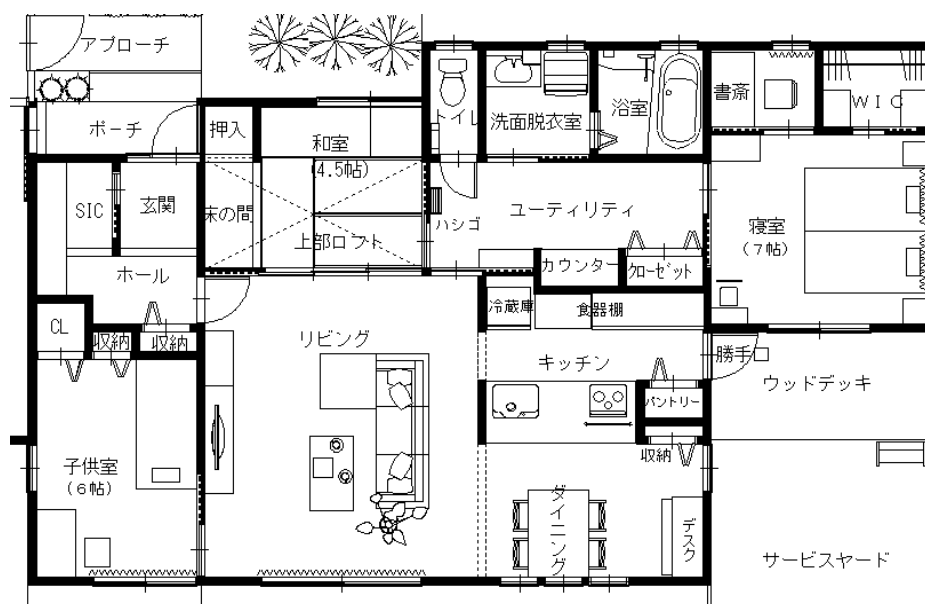
付属施設：ウォークインクローゼット、クローゼット、和室なら押入、納戸、
トイレ、シャワーブース

(2) プライバシー対策

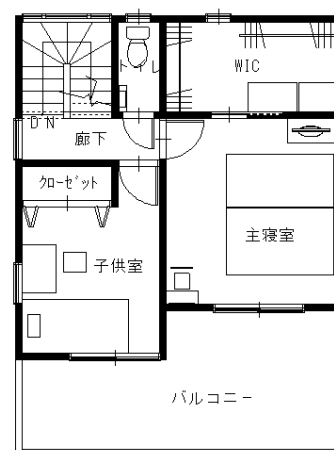
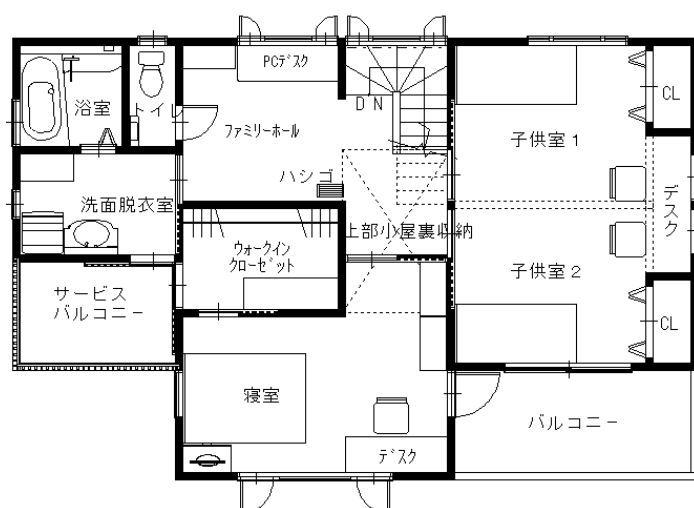
子供室や水回りと隣接することも多いが、その場合、部屋の間を押入やクローゼットなどの収納空間にして緩衝地帯にする。

(3) プラスアルファの機能

書きもの、読書、TVなど、くつろぐことができるようにする。

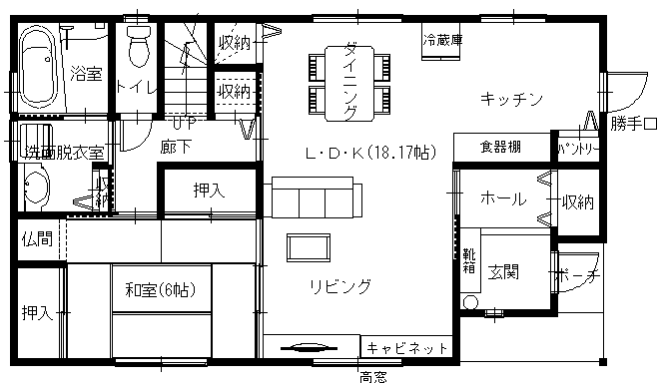


平屋建ての主寝室

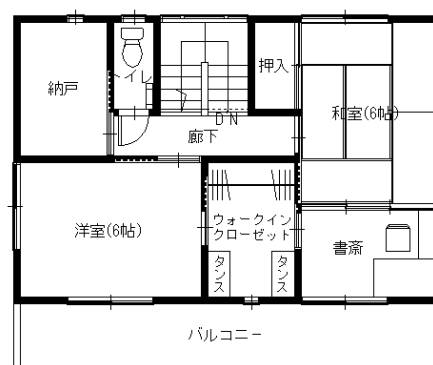


2階に主寝室

2階にサニタリースペースがある主寝室



1階に和室の主寝室



2階に和室の主寝室